



## 三菱パイプ用ファン

(トイレ・洗面所・居室用)

形名	グリル形状	グリル色調	電源仕様	24時間換気機能
V-06PLD <sub>3</sub>	角形格子グリル	ホワイト	連結端子	●(本体電源スイッチ付)
V-06PXL <sub>3</sub>	インテリアパネル	ホワイト	連結端子	●(本体電源スイッチ付)
V-06PD <sub>3</sub>	角形格子グリル	ホワイト	連結端子	—
V-06PXD <sub>3</sub>	インテリアパネル	ホワイト	連結端子	—
V-07PLD <sub>3</sub>	角形格子グリル	ホワイト	連結端子	●(本体電源スイッチ付)
V-07PXL <sub>3</sub>	インテリアパネル	ホワイト	連結端子	●(本体電源スイッチ付)
V-07PD <sub>3</sub>	角形格子グリル	ホワイト	連結端子	—
V-07PXD <sub>3</sub>	インテリアパネル	ホワイト	連結端子	—

形名によって取扱いが異なりますので、予めご使用の形名をご確認ください。  
形名表示位置は「3.各部のなまえ」を参照ください。

## 据付説明書

販売店・工事店様用

据付けを始める前に、誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を梱包外側の「警告」「注意」で説明しておりますので、この説明書とともによくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

据付終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

- 据付け、壁穴工事はお買上げの販売店・専門の工事店様が実施してください。(間違った据付け、工事は、故障や事故の原因になります)
- 電気工事は電気工事士の方が実施してください。
- 形名をよく確認し用途にあった場所に据付けてください。
- 形名以外の用途には使用しないでください。(故障の原因になります)
- 形名によって据付け方法が異なりますので、予めご使用の形名をご確認ください。
- 直接屋外に排気する場合は、雨水浸入防止のためシステム部材(屋外フードなど)を据付けてください。
- 雨水浸入防止のため外風の吹き付けの強い場所では深形フードを据付けることをおすすめします。(深形フード以外の場合、壁面汚れ、雨水浸入の原因になります)
- 24時間換気機能を備えていない製品の運転・停止にはシステム部材または市販のコントロールスイッチが必要です。

形名	適用パイプ	付属部品
V-06タイプ	塩化ビニル管 VP75 (内径77mm) SU75 (内径75mm)	木ネジ2本
V-07タイプ	塩化ビニル管 VU75専用 (内径83mm)	木ネジ2本

## 1.安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

警告	注意
<p>●改造や工具を必要とする分解はしない (火災・感電・けがの原因)</p>	<p>●高温(40℃以上)になる場所や直接炎のある場所、油煙・有機溶剤・可燃性ガスのある場所には据付けない (火災の原因)</p>
<p>●製品を水につけたり、水をかけたりしない (ショート・感電の原因)</p>	<p>●浴室など温かいところには据付けない (感電・故障の原因)</p>
<p>●交流100Vを使用する (直流や交流200Vを使用すると火災・感電の原因)</p>	<p>●据付けの際は手袋を着用する (着用しないときがけの原因)</p>
<p>●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが、電氣的に接触しないよう据付ける (漏電・発火の原因)</p>	<p>●本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に行う (落下によるけがの原因)</p>
	<p>●電気工事は電気工事店に依頼する (感電の原因)</p>
	<p>●電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う (接続不良や誤った電気工事は、火災・感電の原因)</p>
	<p>●据付け後、長期間使用しないときは、分電盤のブレーカーを切る (絶縁劣化による感電・漏電火災の原因)</p>

## 2.据付前のお願

- 高温(40℃以上)になるところには据付けしないでください。(故障の原因になります)
- 塩害、温泉害の発生している場所には据付けしないでください。(故障の原因になります)
- 燃焼機器の排気口の近くには据付けしないでください。(燃焼機器から排出された排気ガスが含まれた外気が、強風のときなどに室内に侵入すると、異臭などの原因になります)
- システム部材(屋外フードなど)は壁面にあったものを選んでください。(壁面により据付けられないものがあります)
- 天井・壁板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものを据付けてください。
- アルミフレキシブルダクトへの据付けはしないでください。(振動の原因になります)
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。

## 3.各部のなまえと外形寸法図

●各部のなまえ ⇒裏面の取扱説明書の「3.各部のなまえ」をご確認ください

●外形寸法図

- V-07PLD<sub>3</sub>
- V-07PD<sub>3</sub>
- V-06PLD<sub>3</sub>
- V-06PD<sub>3</sub>

■V-07PXL<sub>3</sub>

- V-07PXD<sub>3</sub>
- V-06PXL<sub>3</sub>
- V-06PXD<sub>3</sub>

●付属品

本体固定用木ネジ  
.....2本

形名	A
V-07PLD <sub>3</sub>	φ78
V-07PD <sub>3</sub>	φ78
V-06PLD <sub>3</sub>	φ70
V-06PD <sub>3</sub>	φ70

●付属品

本体固定用木ネジ  
.....2本

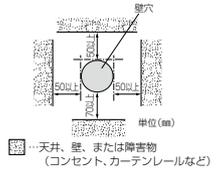
形名	A
V-07PXL <sub>3</sub>	φ78
V-07PXD <sub>3</sub>	φ78
V-06PXL <sub>3</sub>	φ70
V-06PXD <sub>3</sub>	φ70

## 4.据付方法

### 1 据付前の準備

■壁据付けの場合(壁穴への接続パイプの固定)

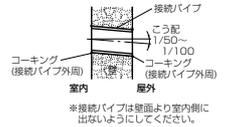
1. 据付場所を決めて壁穴をあける。
  - 右図の壁穴位置をご確認ください。
  - 必ず床面より1800mm以上のメンテナンス可能な位置に据付けてください。



●お願い

- 据付位置は右図の位置になるようにしてください。右図の寸法より小さくなりますと製品が据付けられない場合やメンテナンスができなくなる場合があります。また、製品に電源スイッチを備えている機種では電源スイッチが押せない場合があります。

2. 壁穴に接続パイプを確実に固定する。
  - 接続パイプと壁のすき間はコーキング処理を施します。
  - 電源電線を室内に引き込んでから(電気工事参照)行ってください。
  - 固定が不十分ですと振動したり異常音が発生する原因になります。
  - 室内への水浸入を防ぐため、接続パイプは室内壁面まで差し込みます。



●お願い

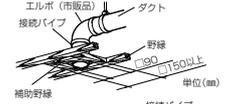
- 接続パイプは雨水の浸入を防ぐため屋外側に下りこう配をつけ、固定してください。

■天井据付けの場合(野線工事とダクト工事)

1. 右図のように野線工事をし、ダクト工事をする。

●お願い

- 接続パイプが壁や障害物から右図の位置になるようダクト工事を行ってください。右図の寸法より小さくなりますと製品が据付けられない場合やメンテナンスができなくなる場合があります。また、製品に電源スイッチを備えている機種では電源スイッチが押せない場合があります。



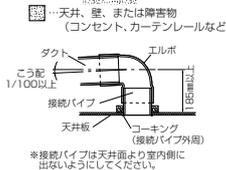
2. ダクトの中心から天井板まで185mm以上離して天井板を張る。

3. エルボと天井板の間は接続パイプを接続する。

4. 接続パイプと天井のすき間はコーキング処理を施す。

●お願い

- ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外側に1/100以上の下りこう配をつけてください。
- 天井板に強度がないときは補強材を入れてください。



## 2 電気工事

電源電線の接続・電気工事などは、必ず専門の工事店へご依頼ください。

■市販のスイッチを使用される場合は適切なスイッチを選定して結線してください。

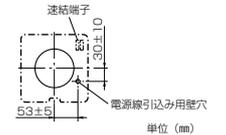
●警告

- 交流100Vを使用する直流や交流100V以外を使用すると感電の原因。

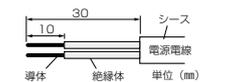
●注意

- 電気工事は電気工事士の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令(及び同解説)」及び「内線規程」に従って安全・確実に行う
- 接続不良や誤った電気工事は、火災・感電の原因。
- 電気工事は電気工事店に依頼する感電の原因。

1. 電源電線を右図の位置から室内に引き込む。
  - 電源電線はVVFφ1.6またはφ2.0 2芯をご使用ください。



2. 電源電線の先端を右図に合わせ皮むきする。
  - 端子部への水の浸入・ほこりの侵入を防ぐため皮むき方法を必ず守ってください。



## 3 本体の据付け(壁据付け・天井据付けともに同様の据付けかたです)

1. 本体からグリルをはずす。
2. 結線をする。(電気工事は電気工事士の方が実施してください)

- ①連結端子カバーを右図のように開ける。
- ②電源電線を連結端子に差し込み。
- ③連結端子カバーを元どおり閉じ確実に固定する。

●お願い

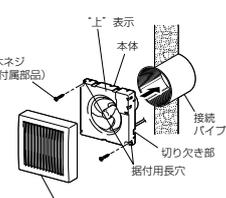
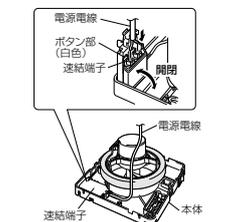
- 電源電線は確実に連結端子に差し込みます。連結端子より導体が出ないようにしてください。
- 電源電線を軽く引いて連結端子に確実に固定されていることを確認してください。
- 電源電線をかみ込まないように本体面に密着させて配線してください。
- 電源電線を連結端子よりはみ出す場合は、ボタン部(白色)を押しながら電源電線を引き抜いてください。

3. 本体の上下を確認して接続パイプに差し込み、付属の木ネジ2本で本体を固定する。
  - 本体刻印の「上」を上側にして据付けてください。
  - 石膏ボードに据付ける場合は、市販の石膏ボード用アンカーを必ず使用してください。

●お願い

- インパルトドライバーは使用しないでください。本体の固定部分が破損するおそれがあります。

4. グリルを本体に据付ける。
  - グリルの方向を確認して、本体に据付ける。
5. 以上の据付けが終了した後、本体とグリルが確実に据付けられているか確認する。



(図は角形格子グリルタイプ)

## 5. 試運転

- 製品が運転・停止するかを確認してください。(製品に電源スイッチを備えている機種は「入・切」の状態を確認してください)
- 異常な音・振動などがなければ確認してください。